

## 新任保育者の適応・熟達化を促進する保育現場の研究

著者	小澤 拓大, 大坪 祥子, 三宅 貴之, 玉城 美千子, 藤田 博, 溝口 充子
雑誌名	宮崎学園短期大学紀要
号	10
ページ	34-55
発行年	2018
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1106/00000674/">http://id.nii.ac.jp/1106/00000674/</a>

# 新任保育者の適応・熟達化を促進する保育現場の研究

小澤 拓大<sup>1</sup> 大坪 祥子<sup>1</sup> 三宅 貴之<sup>2</sup> 玉城 美千子<sup>3</sup>  
藤田 博<sup>2</sup> 溝口 充子<sup>4</sup>

## A Study of childcare field to promote adjustment and expertise of new childcare person

Takuhiko OZAWA Shoko OTSUBO Takayuki MIYAKE  
Michiko TAMAKI Hiroshi FUJITA Michiko MIZOGUCHI

要約： 本論では、新任保育者の不適応を「保育者の多重役割問題」として捉え、保育者の適応・熟達化を、多重役割を遂行する力を身につけることと定義した。そして、その多重役割問題のキーワードとして、「保育者の役割の不明瞭性（保育の言語化の難しさ）」と「保育活動に対するフィードバックの不明瞭性」を論じ、その対策としての「宮崎県幼稚園連合会・宮崎学園短期大学式新任保育者指導／支援チェックシート」について述べた。調査結果からチェックシートの効果を検討するとともに、新任保育者の適応・熟達化を促進する保育現場の研究の今後の展望について述べた。

キーワード：新任保育者の適応・熟達化 保育者の多重役割問題  
宮崎県幼稚園連合会・宮崎学園短期大学式指導／支援チェックシート

### 1. 新任保育者の適応・熟達化に向けて

小澤・野坂（2016）が指摘するように新任保育者の不適応が問題となっている。新任保育者の不適応は本人の問題に留まらず、その保育者が在籍する保育現場の疲弊や保育の質の低下にも繋がる。更には、不適応に陥った新任保育者が離職することで、社会問題にもなっている保育者不足や待機児童問題にも繋がる大きな問題であるといえよう。

小澤・野坂（2016）ではこのような新任保育者の不適応問題に対して、保育現場と保育者養成校の協働の有効性を論じている。そして、その保育現場との協働の一環として行われた、小澤・大坪・三宅・溝口（2017）の研究では、宮崎県の新任保育者も同様に不適応を抱えている可能性が示唆された。

### 2. 新任保育者の不適応と保育者の多重役割問題

#### 2-1. 保育者の多重役割問題と保育者の適応・熟達化

では、なぜ上記のような新任保育者の不適応が生じるのであろうか。「勤務環境」や「保育技能」、「職場の人間関係」等の要因が考えられるが（加藤・安藤，2012）、筆者らの研究グループでは、「保育者の多重役割」を重要な要因の一つとして考えている。保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領にある通り、保育は環境を通して行うものとされている<sup>1,2,3</sup>。そして、この「環境を通した保育」において、保育者は、「子ども理解に基づいた環境構成

1 宮崎学園短期大学 2 認定こども園 東幼稚園 3 あおぞら幼稚園 4 桜ヶ丘幼稚園

者としての保育者」と「自身が構成した環境における、指導・支援者、子どもの手本・モデル、共同作業員としての役割を果たす人的環境としての保育者」という役割を同時的、即興的に行わなくてはならない (e.g., 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領解説)。もちろん、事前に行う環境構成もあるが、その場で環境を作り替えたり、新たな環境を作ったりということも考えられよう。

つまり、保育者は目の前の子どもの姿を捉え、将来の子どもの姿を意識しながら環境を構成するとともに、その構成した環境の中で、自らをコントロールしつつ、時には指導・支援者、時には子どもの手本・モデル、時には子どもと同じ目線に立つ共同作業員的な役割を同時的にそして即興的に行うのである。保育現場を舞台に例えるならば、その舞台において、保育者は監督、脚本、演出、大道具等の役割も役者としての役割もこなさなくてはならない存在であるといえよう。

確かに自分で環境をつくり、同時に指導をするといったことは、保育者という仕事以外にもあるであろう。例えば、会社のプロジェクトのリーダーになれば、フォロワーの仕事内容を把握するとともに、仕事の環境をつくったり、フォロワーへの指示、指導もしたりしなくてはならないであろう。しかしながら、保育者が相手にするのは予測が難しい子どもである。我々は、自分が仕事をする時に同僚の役割がわかっているから (例：〇〇時まで～課に書類を提出すれば〇〇時まで処理してくれる)、つまり相手の行動が予測できるから仕事がスムーズにできる (自分の役割がこなせる) のである。一方で、その予測がつきにくい子ども相手では、自分の役割をこなすことは難しくなるであろう。先ほどの舞台の例でいえば、子ども役の子どもは、保育現場という舞台において、どのような動きをし、どのようなセリフを言うのが予測困難なのである。

このような「環境構成者としての役割」、「人的環境としての役割」をこなすだけでも、大変困難なことであるが、それに加えて、保育者には「保護者支援」や「地域の子育て支援」といった役割まで存在するのである<sup>4,5,6</sup>。もちろん、全ての役割を一人の保育者が大きく担うわけではないかもしれないが、保育者の“役割”としては存在することは確かであろう。ある程度、熟達化した保育者であれば、これらの役割をこなすのは可能であるかもしれないが、経験やそれに基づく学びも浅い新任保育者にとっては非常に困難なことであろう。

本研究では、このような保育者の多重役割による困難を「保育者の多重役割問題」として捉え、その多重役割を遂行する力を身につけることを「保育者の適応・熟達化」<sup>7</sup>と定義する。

## 2-2. 新任保育者の適応・熟達化を困難にするもの

このような、保育者の多重役割は新任保育者にとって、とても困難なことであるが、その多重役割を遂行する力を身につける (適応・熟達化) にあたり、キーワードとなってくるのが、「保育者の役割の不明瞭性 (保育の言語化の難しさ)」と「保育活動に対するフィードバックの不明瞭性」である。

まず、前者の「保育者の役割の不明瞭性 (保育の言語化の難しさ)」であるが、保育者が行う役割の内容は実に多様である。上記に保育者の役割を羅列したものの、それらはラベルをつけただけであり、その内容は様々である。例えば、保育者の役割として「一人ひとりの発達段階に合わせた保育をする」ということに異論はなくても、その方法は一つではないのである。つまり保育というものは、その性質上、言語化が難しいものであると考えられる。そうなると、マニュアル化されていないというよりもマニュアル化できないといった方が適切な表現かもしれない。

このような場合、新任保育者にとっては、「何を行うべきか」ということが、先輩保育者にとっては、「何を教えるべきか」ということが不明瞭になってしまうであろう。そして、そのような状

況が、保育が伝統芸能的、職人技的なものになることを招くとともに、保育現場における保育者育成の土壌が乏しくなってしまうことにも繋がるであろう。

次に後者の「保育活動に対するフィードバックの不明瞭性」について述べる。保育者の適応・熟達化に省察が寄与することは、既に指摘されている通りであり (e.g., 畠山, 2015; 金, 2009; 谷川, 2013; 上山・杉村, 2015; 吉村・吉岡・岩上・田代, 1997)、その省察には自身の保育活動に対するフィードバックは欠かせないものであろう。しかしながら、保育現場においては、「保育とその目的である子どもの発達との因果関係が不明瞭」であったり、「保育の効果が現れるまでに時間がかかる」場合もあつたりする。例えば、子どもに対する一つの声かけがどのような発達の効果をもたらしたのかを特定することは新任保育者でなくても難しいことであるし、毎日声をかけ続けて何週間か経った後にはじめて子どもの発達がみられることもあるであろう。現場経験の長い保育者であれば、子どもを観察する視点も養われており、自分の保育活動の効果は把握しやすいかもしれないが、子どもを観る視点がまだ十分に養われていない新任保育者には難しいことであろう。そうすると、新任保育者が適応・熟達するために自身の保育を省察することは、困難なことであると考えられる。

一方で、フィードバックの形式やタイミングが定まっていないということもフィードバックの不明瞭性として考えられる。例えば、高校教員であれば自分の教育活動の成果は、担当生徒の試験結果や大学受験の結果で捉えられるかもしれない。また、スポーツトレーナーであれば、担当選手の大会成績、作家であれば著書の売り上げや受賞、営業社員であれば営業成績といったように、自分の活動に対するフィードバックの形式やタイミングがある程度定められていると考えられる。しかしながら、保育現場において決まった形式やタイミングでフィードバックがあるということは考えにくい。子どもたちに対して、常に決まった試験があるわけでもないし、子どもの発達は、日々の園生活において、急に浮かび上がってくることもあるであろう。このように考えるとやはり、新任保育者は自身の保育を省察することが困難になるであろう。

### 3. 宮崎県幼稚園連合会・宮崎学園短期大学式新任保育者指導／支援チェックシートの開発

#### 3-1. チェックシートの開発と概要

以上のような、「保育者の多重役割問題」や「保育者の役割の不明瞭性（保育の言語化の難しさ）」、「保育活動に対するフィードバックの不明瞭性」を鑑みて、筆者らの研究グループは、宮崎県幼稚園連合会と協働し、宮崎県幼稚園連合会・宮崎学園短期大学式新任保育者指導／支援チェックシート（以下、“チェックシート”と記載）の開発に着手した。

このチェックシートには、4,5月版、9,10月版、2,3月版の全3版があり、それぞれに新任者用と指導・支援者用とがある。新任者用では、各月で新任保育者が「知るべきこと」、「理解するべきこと」、「学ぶべきこと」等が記載されている。そして、指導・支援者用には同様の内容が「指導・支援」すべき内容として記載されている。つまり、言語化が難しい保育活動において、言語化可能なもの、最低限各月に新任保育者に学習して欲しい内容が記載されている。そして、新任保育者、指導・支援者それぞれは、チェックシートに記載されている内容をこなした場合に、その日付を記入する（チェックする）形になっている（チェックシートの内容の詳細は付録参照）。このようなチェックシートにより、新任保育者の「不明瞭である保育者の多重役割の獲得」に寄与することが期待される。

そして、指導・支援者用だけでなく、新任者用も作成することで、「新任保育者の積極的な学び」や「新任保育者と指導・支援の保育者とのコミュニケーションの活性化」を促進し、新任保育者

が指導・支援者からの保育活動に対するフィードバックを得る機会の増加も想定している。また、新任保育者がチェックシートを使用することにより、自身のできている点、不足している点が明確になるであろう。これらにより、チェックシートが上記の「保育活動に対するフィードバックの不明瞭性」の解決に寄与することも期待される。さらに、両者がチェックシートを使用することで「教えたつもり・教わったつもり（伝えたつもり・伝えられたつもり）」を回避したりする効果も考えられよう。なお、指導・支援者用には、「教えたつもり」、「伝えたつもり」を避けるため、時々、新任の先生と一緒にチェックシートを確認してください」という文言を入れており、上記の効果を高めるよう工夫されている。

チェックシート作成の際には、現場の保育者（第3,4,6著者）、長期間の保育現場および保育者養成校での勤務経験を有する保育者養成校教員（第2著者）で構成される研究グループ内で項目を選定したり、宮崎県幼稚園主任教諭研修会での検討（小澤, 2017a,b）や宮崎県幼稚園連合会加盟園に対する調査を行ったりすることで、チェックシートの有効性向上に努めた。そして、チェックシートは、現在、4,5月版、9,10月版は完成しており、宮崎県幼稚園連合会加盟園に配布されている。2,3月版も2017年度中に完成予定である。

### 3-2. チェックシートの効果検証

上記の通り、チェックシートは4,5月版、9,10月版は完成しており、宮崎県幼稚園連合会加盟園に配布されている。そして、実際に園（指導・支援者）や新任保育者に対して、チェックシートの評価を求めているので、ここでは、4,5月版の結果について報告する。

#### 3-2-1. チェックシート（4,5月版）に対する園からの評価

宮崎県幼稚園連合会加盟園にチェックシートに関するFAXによる質問紙調査を行った。新任者があり、チェックシートを使用した17園（チェックシートの使用程度に関する質問に対して、「使用した」もしくは「やや使用した」と回答した園）から得られたデータについて分析を行った。ただし、質問項目によっては欠損値もあるため、必ずしも17園分のデータにはならない。

#### 【チェックシートの使いやすさ】

問：チェックシート（4,5月版）の使いやすさはいかがだったでしょうか。あてはまる数字に丸をつけてお答えください。

- ・とても使いにくかった (1) (0園/0%)
- ・使いにくかった (2) (0園/0%)
- ・やや使いやすかった (3) (2園/13.3%)
- ・使いやすかった (4) (12園/80.0%)
- ・とても使いやすかった (5) (1園/6.7%)      平均値：3.93

※平均値は括弧内の数値を基に算出したものである。

(例：とても使いにくかったは“1”) (以下同様)

※(%)は全体に占める割合である(以下同様)。

使用した園にとっては、チェックシートは概ね使用しやすかったようである。自由記述による回答(チェックシートの良かった点)においても、「場面の想定が分かりやすく使いやすい。」「指導者用、新任保育者用が1部ずつ作成されていて、細部にわたって両者でチェック、確認がしや

すかった。」という意見があった。チェックシートの普及において、使いやすさというものは重要な要因である。しかしながら、この結果は配布した多くの園のうち、使用した園における結果である。「使いやすかったから使った」、「使いにくかったから使わなかった（こちらはデータには反映されない）」ということもあるので、この結果の解釈には留意が必要である。

### 【保育者の役割の不明瞭性（保育の言語化の難しさ）に対する効果】

#### ①新任保育者への指導・支援のしやすさ

問：チェックシート（4,5月版）があることで、新任者に指導・支援がしやすくなった。

- ・全くあてはまらない（1）（0園／0.0%）
- ・あまりあてはまらない（2）（0園／0.0%）
- ・ややあてはまる（3）（1園／5.9%）
- ・あてはまる（4）（10園／58.8%）
- ・とてもあてはまる（5）（6園／35.3%）      平均値：4.29

#### ②新任保育者への指導・支援の明確さ

問：チェックシート（4,5月版）があることで、新任者に何を指導・支援すればよいのが明確になった。

- ・全くあてはまらない（1）（0園／0.0%）
- ・あまりあてはまらない（2）（0園／0.0%）
- ・ややあてはまる（3）（0園／0.0%）
- ・あてはまる（4）（9園／52.9%）
- ・とてもあてはまる（5）（8園／47.1%）      平均値：4.47

これらの結果より、チェックシートは、「指導・支援者」の「何を教えたらいかがわからない」という問題、すなわち「保育者の役割の不明瞭性（保育の言語化の難しさ）」の問題を軽減し、新任保育者の適応・熟達化（多重役割を遂行する力を身につける）ことに寄与していると考えられる。自由記述による回答においても、「伝えないといけないことや、必要なことが分かりやすく、まとめてありとても良かった。」や「自分の教えなければならないことが明確にされていた」、「細かい項目ごとにわかれており、指導しやすかった。」という意見があった。

### 【保育活動に対するフィードバックの不明瞭性に対する効果】

#### ①新任保育者の積極的な学び

問：チェックシート（4,5月版）があることで、新任者が積極的に指導を受けようとするようになった。

- ・全くあてはまらない（1）（0園／0.0%）
- ・あまりあてはまらない（2）（4園／23.5%）
- ・ややあてはまる（3）（9園／52.9%）
- ・あてはまる（4）（4園／23.5%）
- ・とてもあてはまる（5）（0園／0.0%）      平均値：3.00

## ②新任保育者とのコミュニケーションの活性化

問：チェックシート（4,5月版）を新任者と一緒に確認することで、その新任者とのコミュニケーションのきっかけになった。

- ・全くあてはまらない（1）（0園／0.0%）
- ・あまりあてはまらない（2）（4園／23.5%）
- ・ややあてはまる（3）（1園／5.9%）
- ・あてはまる（4）（6園／35.3%）
- ・とてもあてはまる（5）（6園／35.3%）      平均値：3.82

チェックシートを使うことで、新任保育者の積極的な学びやコミュニケーションの活性化に繋がった園もあった。自由記述による回答においても、「新任者の思いや、今、何に悩んでいるのなどが分かりやすくなった」といった意見があった。チェックシートがあることで、新任保育者は、自身が学ぶべきものが明確になるとともに、過度に遠慮することなく、先輩保育者に指導を求めることができたり、双方がチェックシートをきっかけとしてコミュニケーションをとることができたりしたのかもしれない。このようななかで、先輩保育者から新任保育者へのフィードバックが促進されることもあろう。チェックシートが、「保育活動に対するフィードバックの不明瞭性」の解決に寄与する可能性が考えられる。

しかしながら、チェックシートの使用が新任保育者の積極的な学びやコミュニケーションの活性化に繋がらない園もあった。単にチェックシートの項目内容の改善だけではなく、その使い方にも注目していくべきであろう。

## 【「教えたつもり・伝えたつもり」の回避】

問：チェックシート（4,5月版）を新任者と一緒に確認することで、「教えたつもり・伝えたつもり」を避けることができた。

- ・全くあてはまらない（1）（0園／0.0%）
- ・あまりあてはまらない（2）（0園／0.0%）
- ・ややあてはまる（3）（1園／6.3%）
- ・あてはまる（4）（12園／75.0%）
- ・とてもあてはまる（5）（3園／18.8%）      平均値：4.13

この結果より、チェックシートには「教えたつもり・伝えたつもり」を回避する効果があったといえよう。自由記述による回答においても、「伝えそびれが無いが、確認しながら指導が出来た」や「確認、伝える事が漏れていた場合、気付いて話す機会を持つ事ができる内容であった。」といった意見があった。やはり双方がチェックをする形式は有効であったといえよう。

## 【園からの評価について】

以上のように、使用した園からの得られたデータをみると、チェックシートには、保育者の役割の不明瞭性(保育の言語化の難しさ)や保育活動に対するフィードバックの不明瞭性の解決し、新任保育者の適応・熟達化を促進する効果がある可能性が示唆された。ただし、この結論は「チェックシートを使用し、かつ調査に協力してくれた園」から得られたデータを基に導き出されたものである。「使用してもよい見込みがないから使用しなかった園」や「良い効果はなかったが、

調査には協力してない園」の存在は否定することはできない。よって、解釈には留意が必要であるし、更なるチェックシートの効果検証が求められるであろう。

### 3-2-2. チェックシート（4,5月版）に対する新任保育者からの評価

平成 29 年宮崎県幼稚園教職員研修大会の新規採用部会において、質問紙調査を行った。チェックシートの使用の有無に関する質問（「あなたは、チェックシート（4,5月版）を使用しましたか？」）に対して、“はい”と回答した 15 名から得られたデータについて分析を行った。なお、上記の指導・支援者（園）からの評価と同様、以下の分析および考察は「チェックシートを使用した新任保育者」から得られたデータを基にしていることを留意すべきである（“使いにくいから”・“効果がなさそうだから”・“効果がなかったから”、使用しなかった、回答をしなかったという可能性も考えられる）。

#### 【チェックシートの使いやすさ】

問：チェックシート（4,5月版）の使いやすさはいかがだったでしょうか。あてはまる数字に丸をつけてお答えください。

- ・とても使いにくかった (1) (0人/0.0%)
- ・使いにくかった (2) (0人/0.0%)
- ・やや使いやすかった (3) (9人/60.0%)
- ・使いやすかった (4) (6人/40.0%)
- ・とても使いやすかった (5) (0人/0.0%)      平均値：3.40

使用した新任保育者にとっては、まずまずの使いやすさであったものの、指導・支援者に比べると（平均値：3.93）、新任保育者にとって、チェックシートはやや使いにくかったようである。自由記述による回答（チェックシートの良かった点）において、「分類ごとにチェックができ、分かりやすかった。」という意見がある一方、チェックシートの悪かった点として、「どのぐらいなら「理解できた」といえるのか、判断が難しかった。」という意見もあった。新任保育者にとってのチェックシートの使いやすさの改善が求められよう。

#### 【保育者の役割の不明瞭性（保育の言語化の難しさ）に対する効果】

##### ①学ぶべき点の明確化

問：チェックシート（4,5月版）があることで、今何を頑張ればよいのかが明確になった。

- ・全くあてはまらない (1) (0人/0.0%)
- ・あまりあてはまらない (2) (0人/0.0%)
- ・ややあてはまる (3) (5人/33.3%)
- ・あてはまる (4) (7人/47.6%)
- ・とてもあてはまる (5) (3人/20.0%)      平均値：3.87

##### ②園が求めていることの明確化

問：チェックシート（4,5月版）があることで、園側が今の自分に何を求めているのかが明確になった。

- ・全くあてはまらない (1) (0人/0.0%)

- ・あまりあてはまらない (2) (1人/6.7%)
- ・ややあてはまる (3) (3人/20.0%)
- ・あてはまる (4) (9人/60.0%)
- ・とてもあてはまる (5) (2人/13.3%)      平均値：3.80

チェックシートを使用することで、自分が学ぶべき点や園からの要求が明確になるという効果はある程度あったようである。自由記述による回答にも、「どのような仕事があるのかやどのようにすればいいのかが分かりやすく良かったです。」という意見があった。これらの結果より、上記の「保育者の役割の不明瞭性（保育の言語化の難しさ）」という問題の解決に対し、チェックシートが役立つことが示唆された。

### 【保育活動に対するフィードバックの不明瞭性に対する効果】

#### ①新任保育者の積極的な学び

問：チェックシート（4,5月版）があることで、指導・支援して下さる先生に積極的に指導を受けるようになった。

- ・全くあてはまらない (1) (0人/0.0%)
- ・あまりあてはまらない (2) (1人/6.7%)
- ・ややあてはまる (3) (4人/26.7%)
- ・あてはまる (4) (8人/53.3%)
- ・とてもあてはまる (5) (2人/13.3%)      平均値：3.73

問：チェックシート（4,5月版）があることで、指導・支援して下さる先生に質問をしやすくなった。

- ・全くあてはまらない (1) (0人/0.0%)
- ・あまりあてはまらない (2) (1人/6.7%)
- ・ややあてはまる (3) (4人/26.7%)
- ・あてはまる (4) (6人/40.0%)
- ・とてもあてはまる (5) (4人/26.7%)      平均値：3.87

#### ②指導・支援者とのコミュニケーションの活性化

問：チェックシート（4,5月版）を指導・支援をして下さる先生と一緒に確認することで、その先生とのコミュニケーションのきっかけとなった。

- ・全くあてはまらない (1) (0人/0.0%)
- ・あまりあてはまらない (2) (0人/0.0%)
- ・ややあてはまる (3) (5人/33.3%)
- ・あてはまる (4) (6人/40.0%)
- ・とてもあてはまる (5) (4人/26.7%)      平均値：3.93

#### ③新任保育者の自己評価の妥当性向上

問：チェックシート（4,5月版）があることで、保育者として今の自分がどの程度できているのか、何が足りないのかが明確になった。

- ・全くあてはまらない (1) (0人/0.0%)
- ・あまりあてはまらない (2) (0人/0.0%)
- ・ややあてはまる (3) (4人/26.7%)
- ・あてはまる (4) (8人/53.3%)
- ・とてもあてはまる (5) (3人/20.0%)      平均値：3.93

新任保育者の結果からも、チェックシートが新任保育者の積極的な学びやコミュニケーションの活性化をもたらすことが示唆された。自由記述による回答にも、良かった点として、「何が分からないのか、何を質問すればいいのかが分かること。」という意見があった。このことから、チェックシートが、「保育活動に対するフィードバックの不明瞭性」の解決に寄与する可能性が考えられる。また、新任保育者の積極的な学びは、指導・支援者の先生（先輩保育者）の負担軽減にも繋がるため、重要な要素であると考えられる。さらに、コミュニケーションの活性化は、新任保育者の保育活動へのフィードバックだけではなく、新任保育者が保育現場で安心して仕事ができることにも繋がるであろう。ただし、あまり効果がなかった新任保育者もいたことから、指導・支援者用と同様に、「使い方」にも注目して検討を進めていきたい。

一方、チェックシートは新任保育者の自己評価の妥当性向上に寄与ことが示された。自由記述による回答でも「自分のわかっていないところを把握できた。」「自分を振り返る良い機会となった。」という意見があった。この結果も、チェックシートが、「保育活動に対するフィードバックの不明瞭性」の解決に寄与する可能性を示唆するものといえよう。

#### 【「教わったつもり・伝えられたつもり」の回避】

問：チェックシート（4,5月版）を指導・支援をしてくださる先生と一緒に確認することで、「教わったつもり・伝えられたつもり」を避けることができた。

- ・全くあてはまらない (1) (0人/0.0%)
- ・あまりあてはまらない (2) (1人/6.7%)
- ・ややあてはまる (3) (4人/26.7%)
- ・あてはまる (4) (6人/40.0%)
- ・とてもあてはまる (5) (4人/26.7%)      平均値：3.87

新任保育者の結果からも、チェックシートには「教わったつもり・伝えられたつもり」を回避する効果があったといえよう。

#### 【新任保育者からの評価について】

以上のように、新任保育者の結果からも、チェックシートの効果が示されたと考えられる。しかしながら、数値をみると、いずれの観点（項目）においても改善の余地がみられる。更に使いやすく、更に効果があるよう検討を重ねていきたい。

#### 4. 新任保育者の適応・熟達化を促す保育現場の構築に向けて

本研究グループは、新任保育者の適応・熟達化に向けて取り組んでいる。そして、その適応・熟達化を保育者の多重役割問題から捉え、その解決の一つとして、チェックシートの開発を行っている。今後はチェックシートの効果検証、改善、普及が課題として考えられよう。しかしなが

ら、チェックシートだけでは、この問題が解決するとは考えていない。今後は、チェックシートの活用も含めて、どのような保育現場の体制が新任保育者の適応・熟達化を促すのかについて検討していくことが求められよう。ここでいう保育現場の体制については、単に園内研修やカンファレンスだけではなく、現場の組織体制や役割分担、雰囲気等々、広い観点でみていくことが重要である。新任保育者の育成に力を入れている園や、成功している園に研究者が赴き、新任保育者や指導・支援をする保育者（先輩保育者）から継続的に詳細なデータを得る必要も出てくるであろう。ただし、チェックシートの活用も含めた保育現場の体制の効果検証のためには、新任保育者の適応・熟達化の基準が必要である。つまり、何をもって新任保育者が適応・熟達化をしたのかが明確でなければ、各保育現場の体制が有効であるか否かの議論ができないということである。しかしながら、この問題は簡単なことではないであろう。それは、「保育の質」や「保育者の専門性」の議論が現在も行われていることにも表れていると考えられる。この点については、先行の議論や保育現場の意見を基に進めていくことが重要であろう。

加藤・安藤（2015）が指摘するように、先行研究においては新任保育者も含めた保育者の不適応が多数指摘されているものの、そのような保育者に対する具体的な対応に関する実践報告は少ない。そのような中で、新任保育者の適応・熟達化に関する取り組みに言及した研究としては、「保育実践を共有している保育者との話し合い（対話）」（金，2009）、「新任保育者に対する初期の園内研修」（仲野・金武，2011；仲野・金武・田中，2010）、「新人保育士と先輩保育士のペアによるクラス運営方式」・「リーダー保育士を中心としたサポート体制」・「職務基準書を介した保育の振り返り」（宮崎，2014）、「インシデント・プロセス法による保育カンファレンス」（原，2014）、「心理教育“サクセスフル・セルフ”」（加藤・安藤，2015）、「リカレント教育」（石本，2016）、「先輩保育士による職場サポートと職場体制」（宮崎，2016）、「保育実践現場と保育者養成教員の協働による OJT」（長谷，2017）などがある。このような分野の研究は、新任保育者の適応・熟達化に寄与するものであろう。

しかしながら、研究者が保育現場に介入する以前から、保育現場は、保育者育成に関する様々な効果的な取り組みをしていると考えられる。保育現場と保育者養成校の協働により、それを明確に記述することで、さらに効果的・効率的な取り組みになるよう反省することが可能になるであろう。また、記述した内容を他の園が参考にできるように明示することで、全体的な保育現場の質の向上に繋がることも期待される。

本論では保育者の多重役割問題を「保育者の役割の不明瞭性（保育の言語化の難しさ）」、「保育活動に対するフィードバックの不明瞭性」の二つから考えたが、保育者が多重役割を同時的・即興的に行う、また役割を切り替えながら行うという側面も多重役割問題の重要な要素である。今後は、同時的・即興的ないし、切り替えながら多重役割を遂行するということは、保育者にとってどのようなことであるのか、またどのようにして可能となるのか等についても検討を進めていくべきであろう。

冒頭に述べたように、新任保育者の不適応問題（新任保育者の適応・熟達化）は、保育現場だけではなく、社会的にも重要な問題である。今後も保育現場と保育現場との協働により、この問題に取り組んでいくことが求められよう。

## 引用文献

- 原 孝成 (2014). インシデント・プロセス法による保育カンファレンスが新任保育士の専門的発達に及ぼす効果 鎌倉女子大学紀要, 21, 43-54.
- 長谷 範子 (2017). 保育実践現場と保育者養成の共働の試み—新任保育者の育ちを支えるために— 四天王寺大学紀要, 63, 277-287.
- 畠山 寛 (2015). 保育実践場面における保育者の「行為の中の省察」—保育者の想起に基づいて— 保育学研究, 53, 17-27.
- 石本 真紀 (2016). 新人保育者のためのリカレント教育 保育・教育・福祉研究, 14, 83-91.
- 加藤 由美・安藤 美華代 (2015). 新任保育者の心理社会的ストレスを予防するための心理教育 “サクセスフル・セルフ” のプロセス評価研究 岡山大学大学院教育学研究科研究集録, 160, 19-28.
- 加藤 由美・安藤 美華代 (2012). 新任保育者の抱える困難に関する研究の動向と展望 岡山大学大学院教育学研究科研究集録, 151, 23-32.
- 金 玫志 (2009). 新人保育者による省察の意味とその変容を支える支援のあり方—保育実践後の「保育者間の話し合い (対話)」の中から— 保育学研究, 47, 66-78.
- 厚生労働省 (2017). 保育所保育指針
- 宮崎 静香 (2014). 新人保育士が保護者に対処する過程で求められる職場体制の在り方—社会福祉法人 A 会 A 保育園のインタビュー調査を通して— 東洋大学大学院紀要, 51, 219-243.
- 宮崎 静香 (2016). 新人保育士の保護者対応を支える先輩保育士による職場体制～保育所における主任保育・園長へのインタビュー調査から～ 浦和大学・浦和大学短期大学部 浦和論叢, 54, 107-122.
- 文部科学省 (2017). 幼稚園教育要領
- 文部科学省 (2008). 幼稚園教育要領解説
- 内閣府・文部科学省・厚生労働省 (2017). 幼保連携型認定こども園教育・保育要領
- 仲野 悦子・金武 宏泰 (2011). 新任保育者における 1 年間の園内研修を終えて 岐阜聖徳学園大学短期大学部紀要, 43, 103-116.
- 仲野 悦子・金武 宏泰・田中 まさ子 (2010). 新任保育者に対する初期の園内研修の取り組み 岐阜聖徳学園大学短期大学部紀要, 42, 29-41.
- 小澤 拓大 (2017a). 若手保育者の適応・成長に向けて 宮崎県幼稚園主任教諭研修会 (平成 29 年 1 月 27 日)
- 小澤 拓大 (2017b). 宮崎県幼稚園連合会／宮崎学園短期大学式新任保育者指導・支援チェックシートの作成に向けて 宮崎県幼稚園主任教諭研修会 (平成 29 年 7 月 6 日)
- 小澤 拓大 (2017c). 宮崎県幼稚園連合会／宮崎学園短期大学式新任保育者指導・支援チェックシートの作成 平成 29 年度宮崎県幼稚園教職員研修大会 (平成 29 年 8 月 3 日)
- 小澤 拓大 (2017d). 多重役割を担う新任保育者の適応・熟達化を促進する保育現場の検討 第 1 回保育者養成学術フォーラム分科会 C (於：宮崎学園短期大学) (平成 29 年 9 月 15 日)
- 小澤 拓大 (2017e). 新任保育者の適応・熟達化に向けて 宮崎県幼稚園主任教諭研修会 (平成 30 年 1 月 18 日)
- 小澤 拓大・野坂 敬 (2016). 新任保育者の保育現場への適応に向けて——保育現場と保育者養成校の包括的協働についての提言—— 宮崎学園短期大学紀要, 8, 16-24.
- 小澤 拓大・大坪 祥子・三宅 貴之・溝口 充子 (2017). 保育現場との協働による宮崎県若手保

育者の不適応の検討——平成 27 年度宮崎県幼稚園教職員研修大会における調査から——  
宮崎学園短期大学紀要, 9, 36-46.

谷川 夏海 (2013). 新任保育者の危機と専門的成長—省察のプロセスに着目して— 保育学研究,  
51, 105-116.

上山 瑠津子・杉村 伸一郎 (2015). 保育者による実践力の認知と保育経験および省察との関連  
教育心理学研究, 63, 401-411.

吉村 香・吉岡 晶子・岩上 節子・田代 和美 (1997). 保育者の成長における実践と省察 保育  
学研究, 35, 68-75.

## 付記

本研究の一部は、平成 29 年度宮崎県幼稚園教職員研修大会（小澤, 2017c）、および第 1 回保育  
者養成学術フォーラム（分科会 C）（小澤, 2017d）、宮崎県幼稚園主任教諭研修会（平成 30 年 1  
月 18 日）（小澤, 2017e）にて発表されている。

## 注

- 1 保育所保育指針の第 1 章総則 1 保育所保育における基本原則（1）保育所の役割イには、「保育所は、その目的を達成するために、保育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、子どもの状況や発達過程を踏まえ、保育所における環境をとおして、養護及び教育を一体的に行うことを特性としている。」と記されている。
- 2 幼稚園教育要領の第 1 章総則第 1 幼稚園教育の基本には、「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園教育は、学校教育法に規定する目的及び目標を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。」と記されている。
- 3 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の第 1 章総則第 1 幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本及び目標等 1 幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本には、「乳幼児期の教育は、子どもの健全な身体の発達を図りつつ生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼保連携型認定こども園における教育及び保育は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成 18 年法律第 77 号。以下「認定こども園法」という。）第 2 条第 7 項に規定する目的及び第 9 条に掲げる目標を達成するため、乳幼児期全体を通して、その特性及び保護者や地域の実態を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とし、家庭や地域での生活を含めた園児の生活全体が豊かなものとなるように努めなければならない。」と記されている。
- 4 保育所保育指針の第 1 章総則 1 保育所保育における基本原則（1）保育所の役割ウには、「保育所は、入所する子どもを保育するとともに、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担うものである。」と記されている。
- 5 幼稚園教育要領の第 3 章教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項 2

には、「幼稚園の運営に当たっては、子育ての支援のために保護者や地域の人々に機能や施設を開放して、園内体制の整備や関係機関との連携及び協力に配慮しつつ、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、幼児と保護者との登園を受け入れたり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど、幼稚園と家庭が一体となって幼児と関わる取組を進め、地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を果たすよう努めるものとする。」と記されている。

- 6 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の第4章子育ての支援第2 幼保連携型認定こども園の園児の保護者に対する子育ての支援 8 には、「保護者に育児不安等が見られる場合には、保護者の希望に応じて個別の支援を行うよう努めること。」と記されているし、第4章子育ての支援第3 地域における子育て家庭の保護者等に対する支援 3 には、「幼保連携型認定こども園は、地域の子どもが健やかに育成される環境を提供し、保護者に対する総合的な子育て支援を推進するため、地域における乳幼児期の教育及び保育の中心的な役割を果たすよう努めること。」と記されている。
- 7 「保育者の適応・熟達化」の観点は、本研究で言及されている多重役割を遂行する力を身につけること以外にも多数あるであろう。例えば、「保育現場になれる」、「他の保育者との人間関係・連携がうまくいく」、「やりがいをもって仕事ができる」も観点としては含めることが妥当であろう。本論ではこのような観点を否定するわけではなく、とりわけ「多重役割を遂行する力」に言及する。今後は他の観点も含め「保育者の適応・熟達化」を捉えていくことも重要である。

付録：宮崎県幼稚園連合会・宮崎学園短期大学式新任保育者指導／支援チェックシート

ここでは紙面の都合上、「1. チェックシートの使い方（4,5月版）（新任者用）」、「2. チェックシートの使い方（4,5月版）（指導・支援者用）」、「3. チェックシートの項目（4,5月版）（新任者用）」、「4. チェックシート項目（4,5月版）（指導・支援者用）」、「5. チェックシート項目（9,10月版）（新任者用）」、「6. チェックシート項目（9,10月版）（指導・支援者用）」を記載する。

1. チェックシートの使い方（4,5月版）

チェックシートの使い方

ここでは、チェックシートの使い方を説明します。

	チェック欄 (日付を書く)
園の保育指針・理念を理解した	4/3
年間指導計画の立て方・提出方法(期限等)・保管方法を聞いた	
期間指導計画の立て方・提出方法(期限等)・保管方法を聞いた	
月間指導計画の立て方・提出方法(期限等)・保管方法を聞いた	
月間指導計画の立て方等についてわからない点を質問した	
月間指導計画を作成した	
月間指導計画の反省の仕方・反省の記入の仕方を理解した	
月間指導計画の立て方・提出方法(期限等)・保管方法を理解した	
週案の立て方・提出方法(期限等)・保管方法を聞いた	4/5
週案の立て方等についてわからない点を質問した	
週案を作成した	
週案の反省の仕方・反省の記入の仕方を理解した	
週案の立て方・提出方法(期限等)・保管方法を理解した	

理解した・聞いた等の日付を書いてください。  
(チェック欄は順番通りに埋まらないこともあります)

チェック欄が埋まらない場合は、ただ待っているのではなく  
自分から積極的に尋ねたり、質問したりしましょう。

## 2. チェックシートの使い方 (4,5月版) (指導・支援者用)

## チェックシートの使い方

ここでは、チェックシートの使い方を説明します。

	チェック欄 (行った人の名前と日付を書く)
園の教育・保育指針、理念を伝えた	伊藤4/3
年間指導計画の立て方・提出方法(期限等)・保管方法を教えた	
期間指導計画の立て方・提出方法(期限等)・保管方法を教えた	
月間指導計画の立て方・提出方法(期限等)・保管方法を教えた	
週案の立て方・提出方法(期限等)・保管方法を教えた	
日案の立て方・提出方法(期限等)・保管方法を教えた	佐藤4/6 伊藤4/12
日案の反省の仕方・反省の記入の仕方を教えた	
週案の反省の仕方・反省の記入の仕方を教えた	
月間指導計画の反省の仕方・反省の記入の仕方を教えた	
研修報告書(復命書)の書き方を教えた	
前年度の子どもの育ちを、幼稚園幼児指導要録を見せて教えた	鈴木4/20

行った(教えた・伝えた等)人の名前と  
その日付を書いてください。

教えたりするのは一度とは限らないと思います。  
その場合は複数書いてください。

「教えたつもり」、「伝えたつもり」を避けるため、  
時々、新任の先生と一緒にチェックシートを確認してください。

### 3. チェックシートの項目（4,5月版）（新任者用）

#### ①保育の計画

「園の保育指針・理念を理解した」、「年間指導計画の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を聞いた」、「期間指導計画の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を聞いた」、「月間指導計画の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を聞いた」、「月間指導計画の立て方等についてわからない点を質問した」、「月間指導計画を作成した」、「月間指導計画の反省の仕方・反省の記入の仕方を理解した」、「月間指導計画の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を理解した」、「週案の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を聞いた」、「週案の立て方等についてわからない点を質問した」、「週案を作成した」、「週案の反省の仕方・反省の記入の仕方を理解した」、「週案の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を理解した」、「日案の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を聞いた」、「日案の立て方等についてわからない点を質問した」、「日案を作成した」、「日案の反省の仕方・反省の記入の仕方を理解した」、「日案の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を理解した」、「研修報告書（復命書）の書き方を理解した」、「前年度の子どもの育ちを、幼稚園幼児指導要録を見て理解した」

#### ②保育の内容

「1学期に歌う歌を理解し、楽譜を受け取り、練習した」、「実際に弾いた上で、ピアノ伴奏・リズムの取り方の確認をしてもらった」、「絵本の選び方（保育方針・季節・年齢との合致、長さ・大きさ・冊数）を教えてもらい、考えて選ぶようになった」、「絵本の読み聞かせの仕方を見て学び、実践した」、「担当クラスの子どもの発達段階に応じた「はさみ・のり」の教え方を具体的に理解した」、「登園した子どもの所持品の始末の仕方を理解した」、「担当クラスの全体的な発達段階を理解した」、「担当クラスの子どもの発達段階に応じた「トイレ指導」の仕方を具体的に理解した」、「担当クラスの子どもの発達段階に応じた「手洗い・うがい指導」の仕方を具体的に理解した」

#### ③給食時の援助

「給食の準備の仕方について理解した」、「食事の挨拶や食事のマナーについて理解した」、「食欲不振・偏食の子どもへの配慮について聞いた」、「食欲不振・偏食の子どもへの配慮についてわからない点を質問した」、「食欲不振・偏食の子どもへの配慮について実践した」、「食物アレルギーのある子どもの誤食の危険性・重大さがわかり、誤食防止について理解した」、「食後の片付けや歯磨き等について理解した」

#### ④環境整備

「季節に合う保育室内の壁面の作り方を理解した」、「子どもの動線を考えた保育室内の机や椅子等の配置の仕方を理解した」、「清掃の基本を理解した」、「子どもの作品等の貼り方・置き方を理解した」、「ごみの扱い方（分別方法・出し方）を理解した」、「動植物の世話の仕方（餌やり・水やり等）を理解した」、「修理箇所・破損箇所があった際の迅速な対応（報告等）を理解した」

#### ⑤子どもとのかかわり（特別な配慮を必要とする子どもへの対応を含む）

「特別な支援が必要な子、その保護者への対応の仕方について聞いた」、「虐待についての基本

的な知識を理解した」、「メガネをかけている子への配慮について理解した」、「子ども同士がケンカしたときの両者への対応について理解した」、「泣いている子どもへの対応について理解した」

#### ⑥保育業務

「出席簿の記入・管理について理解した」、「用品用具の補充代等の管理について理解した」、「園の教材（おもちゃ・絵の具・折り紙・画用紙等）の置き場所や使い方を理解した」、「園の絵本の置き場所や管理方法を理解した」、「園の遊具の置き場所や使い方を理解した」、「園の楽器の置き場所や使い方を理解した」、「バス添乗業務について理解した」、「早番・遅番の業務について理解した」

#### ⑦服務規程

「園の就業時間、勤務体制、保育時間について理解した」、「出勤簿の記入の仕方、有給休暇の日数・取り方について理解した」、「遅刻・早退・欠勤する場合の対応を理解した」、「出退勤時間や出勤時・勤務時の服装・身だしなみについて理解した」、「物品購入起案書等の事務的な書類の書き方を理解した」、「個人の携帯電話・スマートフォンの園内での取り扱いについて理解した」

#### ⑧電話対応・来客対応

「電話の掛け方・受け方について理解した」、「来客への対応の仕方について理解した」

#### ⑨情報管理

「個人情報適切な管理方法について理解した」、「守秘義務の重要性（SNSに関することも含む）について理解した」、「他のクラス担任や主任・園長への伝達の仕方、メモの残し方（書き方）を理解した」

#### ⑩保護者対応

「保護者に対する言葉遣いを理解した」、「保護者からの質問に対する対応の仕方（例：あいまいな返答は避ける）を理解した」、「子どもの病気による早退に関する保護者への連絡について理解した」、「保護者とのトラブルが生じた際には一人で悩まずに相談できることがわかった」、「おたより帳・連絡帳の書き方・使い方を理解した」、「おたより帳・連絡帳は安易に返答せず、相談するということを理解した」、「登園時・降園時の保護者とのやり取りについて理解した」、「子どもの外傷の処置・保護者への伝え方について理解した」

#### ⑪安全・衛生・危機管理

「子どものケガ・病気や感染症が起きた時の対処方法について理解した」、「AEDの取り扱いについて理解した」、「緊急時の通報・連絡について理解した」、「緊急時の避難経路・場所・保護者との連絡の取り方について理解した」、「緊急時の出品の中身（特に名簿）について理解した」、「消火器の場所を理解した」、「自由遊びの際の子ども遊びの見守り方・目の配り方について理解した」、「園外へ行くときの安全管理（子どもの見方・持ち物等）について理解した」、「出席停止の病気・感染症とその対応について理解した」、「担当クラスの子どもの今までの大きな

病気やケガについて理解した」、「嘔吐物の処理について理解した」、「汚れた下着の処理の仕方について理解した」、「子どもの持参した薬の取り扱い・投薬・服薬について理解した」、「おもちゃ・遊具の清掃・消毒の仕方を理解した」

#### 4. チェックシート項目（4,5月版）（指導・支援者用）

##### ①保育の計画

「園の教育・保育指針、理念を伝えた」、「年間指導計画の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を教えた」、「期間指導計画の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を教えた」、「月間指導計画の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を教えた」、「週案の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を教えた」、「日案の立て方・提出方法（期限等）・保管方法を教えた」、「日案の反省の仕方・反省の記入の仕方を教えた」、「週案の反省の仕方・反省の記入の仕方を教えた」、「月間指導計画の反省の仕方・反省の記入の仕方を教えた」、「研修報告書（復命書）の書き方を教えた」、「前年度の子どもの育ちを、幼稚園幼児指導要録を見せて教えた」

##### ②保育の内容

「1学期に歌う歌を教え、楽譜を渡した」、「実際に弾いてもらった上で、ピアノ伴奏・リズムの取り方の確認をした」、「絵本の選び方（保育方針・季節・年齢との合致、長さ・大きさ・冊数）を教えた」、「絵本の読み聞かせの仕方を実際にやってみせた」、「担当クラスの子どもの発達段階に応じた「はさみ・のり」の教え方を具体的に伝えた」、「登園した子どもの所持品の始末の仕方を教えた」、「担当クラスの全体的な発達段階を伝えた」、「担当クラスの子どもの発達段階に応じた「トイレ指導」の仕方を具体的に伝えた」、「担当クラスの子どもの発達段階に応じた「手洗い・うがい指導」の仕方を具体的に伝えた」

##### ③給食時の援助

「給食の準備の仕方について具体的に順序立てて教えた」、「食事の挨拶や食事のマナーについて教えた」、「食欲不振・偏食の子どもへの配慮について教えた」、「食物アレルギーのある子どもの誤食の危険性・重大さについて伝え、誤食防止について教えた」、「食後の片付けや歯磨き等について具体的に順序立てて教えた」

##### ④環境整備

「季節に合う保育室内の壁面の作り方を教えた」、「子どもの動線を考えた保育室内の机や椅子等の配置の仕方を教えた」、「清掃の基本を教えた」、「子どもの作品等の貼り方・置き方を教えた」、「ごみの扱い方（分別方法・出し方）を教えた」、「動植物の世話の仕方（餌やり・水やり等）を教えた」、「修理箇所・破損箇所があった際の迅速な対応（報告等）を教えた」

##### ⑤子どもとのかかわり（特別な配慮を必要とする子どもへの対応を含む）

「特別な支援が必要な子、その保護者への対応の仕方について教えた」、「虐待についての基本的な知識を教えた」、「メガネをかけている子への配慮について教えた」、「子ども同士がケンカしたときの両者への対応について教えた」、「泣いている子どもへの対応について教えた」

##### ⑥保育業務

「出席簿の記入・管理について教えた」、「用品用具の補充代等の管理について教えた」、「園の

教材（おもちゃ・絵の具・折り紙・画用紙等）の置き場所や使い方を教えた」、「園の絵本の置き場所や管理方法を教えた」、「園の遊具の置き場所や使い方を教えた」、「園の楽器の置き場所や使い方を教えた」、「バス添乗業務について教えた」、「早番・遅番の業務について教えた」

#### ⑦サービス規程

「園の就業時間、勤務体制、保育時間について教えた」、「出勤簿の記入の仕方、有給休暇の日数・取り方について教えた」、「遅刻・早退・欠勤をする場合の対応を教えた」、「出退勤時間や出勤時・勤務時の服装・身だしなみについて教えた」、「物品購入起案書等の事務的な書類の書き方を教えた」、「個人の携帯電話・スマートフォンの園内での取り扱いについて教えた」

#### ⑧電話対応・来客対応

「電話の掛け方・受け方について教えた」、「来客への対応の仕方について教えた」

#### ⑨情報管理

「個人情報の適切な管理方法について教えた」、「守秘義務の重要性（SNSに関することも含む）について教えた」、「他のクラス担任や主任・園長への伝達の仕方、メモの残し方（書き方）を教えた」

#### ⑩保護者対応

「保護者に対する言葉遣いを教えた」、「保護者からの質問に対する対応の仕方（例：あいまいな返答は避ける）を教えた」、「子どもの病気による早退に関する保護者への連絡について教えた」、「保護者とのトラブルが生じた際には一人で悩まずに相談することを伝えた」、「おたより帳・連絡帳の書き方・使い方を教えた」、「おたより帳・連絡帳は安易に返答せず、相談するということを教えた」、「登園時・降園時の保護者とのやり取りについて教えた」、「子どもの外傷の処置・保護者への伝え方について教えた」

#### ⑪安全・衛生・危機管理

「子どものケガ・病気や感染症が起きた時の対処方法について教えた」、「AEDの取り扱いについて教えた」、「緊急時の通報・連絡について教えた」、「緊急時の避難経路・場所・保護者との連絡の取り方について教えた」、「緊急時の持出品の中身（特に名簿）について教えた」、「消火器の場所を説明した」、「自由遊びの際の子どもの遊びの見守り方・目の配り方について教えた」、「園外へ行くときの安全管理（子どもの見方・持ち物等）について教えた」、「出席停止の病気・感染症とその対応について教えた」、「担当クラスの子どもの今までの大きな病気やケガについて教えた」、「嘔吐物の処理について教えた」、「汚れた下着の処理の仕方について教えた」、「子どもの持参した薬の取り扱い・投薬・服薬について教えた」、「おもちゃ・遊具の清掃・消毒の仕方を教えた」

※詳細は割愛するが、4,5月版（新任者用、指導・支援者用）には付録として、「清掃の基本」、「バスの添乗業務」、「電話対応」、「来客対応」の詳細の参考が記載されている（ただし、園によってやり方が異なる場合もあると考えられたため、実際には園に合わせて欲しい旨を記している）。

## 5. チェックシート項目（9,10月版）（新任者用）

## ①保育の計画

「1 学期の振り返りをした」、「2 学期の子どもの育ちの見通しを聞いた園の教育・保育指針、理念を再確認した」、「園の教育・保育指針、理念を再確認した」、「各々の子どもに合った2 学期の「ねらい」の立て方を聞いた」、「2 学期の行事について内容やそれに向けての流れを聞いた」、「2 学期の保育内容や指導計画の立て方を聞いた」

## ②保育の内容

【歌】「2 学期に合った（季節や発達に合った）曲を聞き、楽譜をもらった」、【絵本・紙芝居】「2 学期に合った絵本・紙芝居の選び方を聞いた」、【手遊び・歌遊び】「2 学期に合った手遊び・歌遊びを聞いた」、「わらべうたの歌や遊び方を聞いた」、「手遊び・歌遊びの工夫・アレンジの仕方を聞いた」、【絵画】「2 学期に合った画材・題材の選び方を聞いた」、「子どもが描きたくなる導入の仕方を聞いた」、【製作】「2 学期に合った素材・題材の選び方を聞いた」、「廃材を使った製作の仕方を聞いた」、【運動遊び】「年齢に応じた様々な運動遊びと援助の仕方を聞いた」、【劇遊び】「先輩保育者の劇遊びを見て、劇遊びのねらい、楽しさを知った」、「劇遊びの導入の仕方を具体的に聞いた」、【音楽遊び】「先輩保育者の音楽遊びを見て、音楽遊びのねらい、楽しさを知った」、「園にある楽器の種類と数を聞いた」、「園の楽器の使い方や置き場所を聞いた」、【園外保育】「園外保育の目的を聞いた」、「園外保育で子どもに経験させたい内容を聞いた」、「園外保育の下見（目的地・ルート等）で確認すべきことを聞いた」、「園外保育の計画書・申請書の書き方を聞いた」、「その他、園外保育の実施にあたり、必要なことを聞いた（例：保護者への プリント配布・引率者の確認・雨天時の計画・移動手段（手配）・緊急時の対応・準備物の確認）」、【行事】「各行事（運動会・発表会等）の目的を聞いた」、「資料（写真・動画・昨年度のプログラム等）を基に各行事のイメージがわいた」、「各行事のプログラムの内容や順番等の構成の仕方を聞いた」、「各行事における担当業務を聞いた」、「各行事の開催場所のイメージ（広さ・機材等）を聞いた（自園以外で開催する場合）」、「各行事で使用するものやその使い方を聞いた」、「各行事の当日までの日程（道具・場所の使用順など）を聞いた」、「各行事の当日を子どもたちが楽しみに迎えられるための計画の立て方を聞いた」

## ③子どもとのかかわり

「夏期休業明けの予想される子どもの姿を一緒に考えた」、「夏期休業明けに登園を渋る子どもがいた場合の対応を一緒に考えた」、「各行事への取り組みの中で、予想される子どもの姿を一緒に考えた」、「各行事への取り組みの中で、登園を渋る子どもがいた場合、その対応を一緒に考えた」、「発達に応じた子ども同士のかかわりの捉え方、援助の仕方を聞いた」

## ④保護者対応

「子どもがけがをした場合、その「時間・場所・対処」を正確に記録し、伝えることを聞いた」、「各行事の「ねらい」をわかりやすく保護者に伝える方法を聞いた」、「各行事に向かう子どもの姿を具体的に保護者に伝える工夫を聞いた」

## ⑤安全・衛生・危機管理

「緊急時の避難経路・場所・保護者との連絡の取り方および通報について再確認した」、「自由

遊びの際の子どもの遊びの見守り方・目の配り方について再確認した」、「園外へ行くときの安全管理（子どもの見方・持ち物等）について再確認した」、「出席停止の病気・感染症とその対応について再確認した」、「熱中症予防（水分補給・帽子着用の徹底）について聞いた」、「AEDの置き場所や使用法について再確認した」、「日本スポーツ振興センター災害給付金の手続きの仕方について聞いた」

#### ⑥その他

「次年度の園児募集要項を読み、流れを聞いた」、「自分が迷ったり、不安に思った事は、いつでも、何度でも先輩保育者に相談していいことがわかった」

### 6. チェックシート項目（9,10月版）（指導・支援者用）

#### ①保育の計画

「1 学期の振り返りをしたことを確認した」、「2 学期の子どもの育ちの見通しを教えた」、「園の教育・保育指針、理念を再確認した」、「各々の子どもに合った2 学期の「ねらい」の立て方を教えた」、「2 学期の行事について内容やそれに向けての流れを教えた」、「2 学期の保育内容や指導計画の立て方を教えた」

#### ②保育の内容

【歌】「2 学期に合った（季節や発達に合った）曲を教え、楽譜を渡した」、【絵本・紙芝居】「2 学期に合った絵本・紙芝居の選び方を教えた」、【手遊び・歌遊び】「2 学期に合った手遊び・歌遊びを教えた」、「わらべうたの歌や遊び方を教えた」、「手遊び・歌遊びの工夫・アレンジの仕方を教えた」、【絵画】「2 学期に合った画材・題材の選び方を教えた」、「子どもが描きたくなる導入の仕方を教えた」、【製作】「2 学期に合った素材・題材の選び方を教えた」、「廃材を使った製作の仕方を教えた」、【運動遊び】「年齢に応じた様々な運動遊びと援助の仕方を教えた」、【劇遊び】「劇遊びをやって見せ、劇遊びのねらい、楽しさを知らせた」、「劇遊びの導入の仕方を具体的に教えた」、【音楽遊び】「音楽遊びをやって見せ、音楽遊びのねらい、楽しさを知らせた」、「園にある楽器の種類と数を教えた」、「園の楽器の使い方や置き方を教えた」、【園外保育】「園外保育の目的を教えた」、「園外保育で子どもに経験させたい内容を教えた」、「園外保育の下見（目的地・ルート等）で確認すべきことを教えた」、「園外保育の計画書・申請書の書き方を教えた」、「その他、園外保育の実施にあたり、必要なことを教えた（例：保護者へのプリント配布・引率者の確認・雨天時の計画・移動手段（手配）・緊急時の対応・準備物の確認）」、【行事】「各行事（運動会・発表会等）の目的を教えた」、「資料（写真・動画・昨年度のプログラム等）を基に各行事のイメージを伝えた」、「各行事のプログラムの内容や順番等の構成の仕方を教えた」、「各行事における担当業務を教えた」、「各行事の開催場所のイメージ（広さ・機材等）を伝えた（自園以外で開催する場合）」、「各行事で使用するものやその使い方を教えた」、「各行事の当日までの日程（道具・場所の使用順など）を教えた」、「各行事の当日を子どもたちが楽しみに迎えられるための計画の立て方を教えた」

#### ③子どもとのかかわり

「夏期休業明けの予想される子どもの姿を一緒に考えた」、「夏期休業明けに登園を渋る子どもがいた場合、その対応を一緒に考えた」、「各行事への取り組みの中で、予想される子どもの姿

を一緒に考えた」、「各行事への取り組みの中で、登園を渋る子どもがいた場合、その対応を一緒に考えた」、「発達に応じた子ども同士のかかわりの捉え方、援助の仕方を教えた」

#### ④保護者対応

「子どもがけがをした場合、その「時間・場所・対処」を正確に記録し、伝えるよう教えた」、「各行事の「ねらい」をわかりやすく保護者に伝える方法を教えた」、「各行事に向かう子どもの姿を具体的に保護者に伝える工夫を教えた」

#### ⑤安全・衛生・危機管理

「緊急時の避難経路・場所・保護者との連絡の取り方および通報について再確認した」、「自由遊びの際の子どもの遊びの見守り方・目の配り方について再確認した」、「園外へ行くときの安全管理（子どもの見方・持ち物等）について再確認した」、「出席停止の病気・感染症とその対応について再確認した」、「熱中症予防（水分補給・帽子着用の徹底）について教えた」、「AEDの置き場所や使用方法について再確認した」、「日本スポーツ振興センター災害給付金の手続きの仕方について教えた」

#### ⑥その他

「次年度の園児募集要項を見せ、流れを伝えた」、「迷ったり、不安に思った事は、いつでも、何度でも先輩保育者に相談して欲しいと思っていることを伝えた」